

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 4年 2月 21日

事業所名: 障がい児者生活支援施設 ポケットハウス

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		利用人数や特性に合わせて部屋を分けて対応	成長に伴い伸び伸びと身体を動かすには広いスペースや定員の制限も必要か検討
	2	職員の配置数は適切であるか	○		人員基準に適合している 常勤専従の看護師の配置もあり	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			障がい特性から小さな段差も移動には難しさがある方もいる 廊下も車椅子同士での対向には少し狭さを感じる
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		活動内容に合わせて部屋を使い分けしている	清潔にするように心がけている
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		リーダー職員が主になって行っている 現場職員からの意見もくみ取りながら実施するようにしている	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		都度確認している アンケートの実施や個別相談を行っている	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			HPでの公表を行っている 評価結果を基に改善点や支援のありかた、職員の意識向上に努める
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		現在実施できていない 今後検討課題としてまいります
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		コロナ過により中止や延期となることが多かった 今後職員の意見も踏まえて幅広く職員が参加できるようにしたい	
適切な支援の指	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		作成前にアンケートを実施	アンケートだけでなく実際に聴き取りを行うことで細やかな課題がくみとれるようにする
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		事業所統一のアセスメントツールの利用	
	12	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			
	13	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		リーダーが前日にプログラムを計画し、現場職員へ指示日々の状態により臨機応変に対応できるように相談し実施している	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○	今後の課題として特に検討が必要 コロナ過により制限があるなか工夫して検討していく	
	16	(放課後等デイサービスのみ) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			放課後は体調管理を優先し、休日などは療育や余暇活動・体験活動など充実できるよう努めている

提供	17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		個別支援が主になっているが集団活動も体調などに無理なく取り入れるようにしている
	18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○	全体朝礼、部署での朝礼を行っている	送迎時の申し送り内容をLINEにて共有し受け入れ前に把握するようにしているが職員間で話し合う時間がとれないことが多い
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○	終わりの会の実施日報にて共有する	送迎終了が終業時間と一緒にになることが多く、個人的に話しあいや振り返り、LINEによる情報共有となっている
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		実施記録や日報を基にリーダー職員だけでなく全員が見直しできるように努めている
	21	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○	相談員とのモニタリングも情報共有を細かく行うようにしている	
	22	(放課後等デイサービスのみのみ) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	児発管やリーダー職員など適任者を選出し参加している	
	24	(児童発達支援のみ) 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○	担当の保健師さんと情報共有や相談など随時行っている 施設の見学受け入れや相談対応、保育所見学など行っている	
	25	(放課後等デイサービスのみのみ) 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○	基本的に保護者からいただくようにしているが保護者の了承を得た上で学校と情報共有している	通所判断が難しい体調に異変があった時に事前に連絡がなく対応に困ることがある 家族さんへの理解を深めることで改善に努めている
	26	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○	学校とは送迎時の申し送り時間に情報共有を行うようにしているがケース会議の場等が少なく今後関係機関との連携はより一層課題となる	
	27	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○	指示書の依頼や相談を行っている	大きな病院だと特に主治医との直接的なやりとりが難しいが、実施報告書のやりとりなどで連携強化する
	28	(児童発達支援のみ) 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	必要時ケース会議などに参加し行っている 互いに施設見学を行っている	
	29	(児童発達支援のみ) 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	就学前の調査票記入や家族さんとの相談、調整など協力している 就学前の面談などの参加を行う	
	30	(放課後等デイサービスのみのみ) 就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○	ケース会議の実施	
	31	(放課後等デイサービスのみのみ) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○	移行までに事業所間でのやりとりや担当者会議にて移行がスムーズに行えるように情報の提供を行っている	
	32	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	定期的に巡回相談を行い、専門の方から助言を受ける場を設けている	

	33	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	現在は実施できていない 園庭開放への参加など検討しているがコロナ過により難しい 児童の平行通園への調整や連携を行っている	
	34	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		2ヶ月に1回事業所連絡会への参加 こども部会へは持ち回りで参加している	
	35	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			家族さんと顔を合わす機会が少ない場合は難しさがあるが電話やLINEでのやりとりにより深めるようにしている
	36	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			保護者向けの研修企画など今後検討が必要 随時相談、支援は行うようにしている
保護者への説明責任等	37	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	38	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	○		作成時に支援内容などの確認を行い、説明し同意を得ている 1部は配布している	
	39	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			送迎時等随時行うようにしている
	40	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		現状できていないが無理なく参加できる方法を検討する
	41	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			相談や要望があれば適切に対応できるように管理者などが行う
	42	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		各部署でのお便りで活動写真や行事予定などお知らせするようにしている	1ヶ月に1回発行が目標であるが2か月に1回等不定期になることがあるので改善していきたい
	43	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			連絡帳の内容の充実、必要時は電話などでの直接やりとりのより情報共有を行っています
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			コロナ過により難しいが販売の受付などを随時行っている
非常時等の対応	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			各マニュアルの策定は出来ているが保護者への周知ができるようにする必要がある お便りで検討する
	47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		月に1回実施している	訓練実施日にあたらぬ利用者もいるため参加したことない利用者も参加できるように検討したい
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		指示書等連絡帳と記録のバインダーに貼り付け備えている	変更点への対応や定期的に更新を忘れず行う必要あり 年に1回聞き取りを行う
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		各々のアレルギーカードを掲示	
	50	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		記録への記入、共有し対策を会議にて検討している	
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		県の虐待研修に参加し、研修に参加した職員が社内研修を行っている	

52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載しているか	○	必要時は個別支援計画への記入、行動制限の実施について十分な話し合いを持ち、説明と同意書による了承を得る 継続的にならないように制限をなくせる支援を日々検討していく必要がある
----	------------------------------------------------------------------------------------------	---	-------------------------------------------------------------------------------------------

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。